

【事例-5】城郭石垣のモニタリング



石垣に感太郎を設置

変状が進行した城郭石垣のモニタリング

【特徴および適用目的】

熊本地震にて被災した熊本城の石垣にて、崩落の挙動を把握することを目的として、モニタリングをおこないました。センサーは脱着が容易な材料を利用し、重要文化財の石垣に直接固定しました。

【適用現場の特徴】

- ・ 斜面の勾配（角度）：80°
- ・ 斜面状況（自然斜面, 切土のり面等）：法面（石垣）
- ・ その他特徴：石垣の崩落

【適用効果】

24時間リアルタイム遠隔自動モニタリングによる城郭石垣の挙動把握の実現